

超強化型老人保健施設に なりました



開設から20年目を迎え、厚生労働省が定める要件を満たした在宅復帰・在宅支援機能が高いと認められた「超強化型老人保健施設」になりました。

安心した施設生活



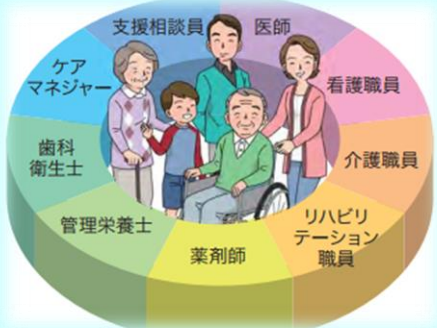
上尾中央医科グループ（AMG）は、上尾中央総合病院を基幹病院として1都6県に28病院と21介護老人保健施設等を開設しています。協力病院として「船橋総合病院」があり、その他にも「訪問歯科」や「訪問理容」を導入しています。

様々な状態の ご利用者様を受け入れ



経管栄養・喀痰吸引・インスリンなどの医療行為が必要なご利用者様も受け入れ可能です。まずはご相談ください。

ご利用者様中心の 多職種連携



老健の多職種連携はドーナツ型

様々な専門知識・技術を持ったスタッフがチームでご利用者の生活を支えます。

専門的 ケアサービス

介護福祉士の配置割合が高く、認知症ケア専門士による認知症ケア、歯科衛生士の関与による適切な口腔衛生管理体制（口腔ケアに入り清潔保持）が整備されています。

自立支援に向けたケアプラン （施設サービス計画）3ヶ月ごとに見直し



ご利用者の状態に合わせた支援の提供のため、3ヶ月ごとに見直しを行っています。介護が必要な状態であっても、それぞれの状態に応じ少しでも自立した生活が送れるよう目標を立てます。毎月多職種でプラン実施状況を確認し、身体の状態にしているかを確認をしています。

☆行事食☆



毎月の季節に合わせて、行事食を提供しています。お正月のおせち、節分の太巻寿司、お彼岸のおはぎなどを手作りしており「美味しい」と好評です。

☆普段の食事☆



和食中心の家庭的な料理を、美味しく安全に食べられる様に厨房内で調理しています。また、医師の指示のもと疾病などお身体の状態に合わせた食事を提供し栄養管理しています。

☆15時のおやつ☆

リクエストも取り入れて
ています



手作りを中心として、おやつも季節感ができるように、春は桜餅、6月は水無月やところてん・秋はさつま芋を使用したおやつ・冬はクリスマスケーキなどを提供しています。

咀嚼・嚥下機能 (噛む・飲み込む)が弱い方 認知機能が低下した方へ

いつまでも食べる楽しみを得られるように、きざみ食・極キザミ食・ミキサー食などの食形態を用意しています。また、自力摂取がしやすいように自助具の用意もしています。多職種が関わりながら、安全に食べられるよう食支援しています。

食べる喜びは
元気の源



きざみ食(1cmサイズ)

噛む機能の
低下した方に提供



学会分類2013
コード4

ミキサー食(ペースト状)

噛む・飲み込む機能の
低下した方に提供



学会分類2013
コード2-1

☆在宅復帰される方へ、食事のアドバイスも行っています。

リハビリスタッフの充実



作業療法士・理学療法士・言語聴覚士のリハビリ専門職が10名以上在籍。各々に必要で適した個別・小集団リハビリを提供しています。

生活リハビリの実施



リハビリ専門職によるリハビリだけでなく、介護スタッフも日常生活内で行えることは自分でしてもらう「生活リハビリ」を実施しています。

自宅訪問の実施



安全に在宅生活が送れるように、ご利用開始後にご自宅に訪問して、福祉用具などの導入や環境設定を検討します。

生活を楽しく



フロア毎に、他のご利用者様と一緒に体操や集団ゲーム・脳トレ等のレクリエーションを毎日行っています。施設全体では花火大会や地域の方による演奏会、地域交流のバザー等様々なイベントを行っています。

クラブ活動



地域の方々によるクラブ活動が毎月行われており、ギター演奏・編み物・生け花教室・歌の会・日本舞踊等様々な交流を通して「やる気」「生きがい」を引き出せる様取り組んでいます。

ご家族様と一緒に



レク行事を活用し、「家族交流会」を実施しています。ご家族様間の交流はもちろん、職員ともコミュニケーションを図り、ご家族様と一緒にご利用者様のケアをしていきます。ご家族様の介護に対する悩みや不安を解消する「家族介護教室」も実施しています。

専門的認知症ケアで 自分らしく

認知症専門棟では、「認知症になっても今までのように暮らしたい」というニーズに応えられる様、専門的な知識を持った職員が多数在籍しています。重度認知症の方にも柔軟な対応ができる環境を整えています。

寄り添った安心できる 認知症ケア



認知症専門棟ではグループケアを導入し、同じ職員が関わることで馴染みの関係を築き、周辺症状(BPSD)を緩和し、安心できるケアを提供しています。

安心して暮らせる 地域づくりへの貢献



ご利用者様の状態に合わせ、認知棟から一般棟への転階もすることができます。また、全職員が認知症サポーターを持っており、誰もが安心して暮らせる地域づくりに貢献しています。

学習療法を導入



音読と計算を中心とする教材を用いた学習を、学習者と支援者がコミュニケーションをとりながら行うことにより、認知機能やコミュニケーション機能、身辺自立機能などの前頭前野機能の維持・改善を図るものです。楽しみながら参加されています。

在宅にお帰りになる方は 約50%



入所から家での生活までトータルでお手伝いします。退所後も不安なく生活できるよう、サービスを繋げます。入所中から、在宅の生活を想定し、福祉用具の検討や選定を行います。

在宅復帰後もサポート

ご家族様が安心して負担なく、在宅生活が継続できるよう、訪問リハビリ・デイケア・ショートステイのサービスの提供をしています。まずはご相談ください。

通所リハビリテーション のご紹介



通所リハビリテーションとは



国家資格の療法士（理学・作業療法士、言語聴覚士）が専門的リハビリを、日常生活介助を介護士が行う通いのサービスです。（デイケアとも呼ばれています）入浴・昼食の付く長時間型、リハビリに特化した短時間型の2種類になります。

生活を弾ませる交流の機会を



定員50名、平均利用人数が40名以上となり、様々な方との交流の場にもなっています。デイケアの関係者以外にも月1回パンの訪問販売や、華道などのボランティアの受け入れも行っています。

リハビリになる レクリエーション



脳トレプリントや塗り絵、手先を動かす訓練を兼ねた季節のクラフトレクリエーションを提供しています。作品はお持ち帰り頂けます。その他、エルゴメーターと呼ばれるリハビリの足漕ぎバイクを使った訓練等もあります。

安全なご入浴の提供



ご自宅で思う様に動けない方を中心に、介護士によるお着替えや体・頭を洗う事をお手伝いさせて頂く事が可能です。浴槽に入ることが難しい方は、機械浴のご案内も行っています。

看護師も毎日勤務 療養上のサポート体制あり



通所専属の看護師が在籍しています。毎日出勤し、お薬の管理、健康管理を行っています。また、インスリン注射の管理や胃ろうの方の受け入れ実績もあります。
「こんな病気は大丈夫かしら」「これって病院へ行った方が良い？」まずはお気軽にご相談ください！